

一般助成

1年目

知識の提供・  
普及啓発



むつ湾のお魚見学会の様子

## 縄文人のふるさと 「むつ湾」を楽しく守る 協働の取組

普及啓発活動への  
参加者 **182人**

自然体験・保全  
活動への参加者 **100人**

活動の全体目標に  
対する達成度 **40%**

### 課題

閉鎖性の高い海域である陸奥湾の環境を保全するために、水源の山から海までを一体的に保全する体制を構築すること。また、多くの市民に関心を持ってもらうこと。

### 活動内容

夏休みの小学生を対象とした陸奥湾の生物を学ぶ水族館見学、高校生・大学生を対象とした海岸清掃活動、一般市民を対象とした水道施設の見学、カヤック体験や水源地のトレッキングと清掃活動を組み合わせた活動など、様々な年代を対象に普及啓発・自然体験・環境保全活動を実施した。また、活動の締めくくりとしてフォーラムと交流会を開催し、個別に活動を行っている団体同士が繋がり、一体的な保全活動を行う足がかりとした。



高校生及び大学生による  
海の清掃活動の様子

### 今後の課題

- 活動範囲を陸奥湾沿岸全域へ広げること
- 山から海までの一体的な保全が継続的に行われるための協働体制を構築すること

### 成果と工夫した ポイント



#### 成果

各活動やアンケートへの回答を含め、合計533人の参加者に対し、陸奥湾とその周辺環境への関心を育むことが出来た。また、協働体制の構築の一歩として、行政・企業・NPO等からなる事業検討委員会を設置した。

#### 工夫

陸奥湾や環境問題にあまり関心がない人にも興味をもってもらえるように、活動に楽しい体験を組み込んだ。